

アマチュアギターコンクールの課題曲について

Q. ターレガの運指を知るにはどの譜面を使用すればよいのでしょうか？

A. 「ターレガの運指」という感覚的な言い方で戸惑わせてしまい申し訳ありません。

確かに現代ギター社出版の「発表会用ギター名曲集」の楽譜は「運指・解説：野町剛生」となっています。ちなみに、同じく現代ギター社の「ターレガギター曲集」では特に誰が運指を付けたかは記されておりません（おそらくターレガが書いたそのまま？オリジナルと想像出来ます）。

ここで、説明しやすくするために、「発表会用ギター名曲集」の楽譜を「野町運指版」、「ターレガギター曲集」の楽譜を「オリジナル版」とします。

結論から申し上げます、今回の課題曲はこのどちらの版を使っても問題はありません。なぜなら、両者の楽譜を見比べるとわかるのですが、両者の運指は内容的に同じものだからです。（ベルベン社の楽譜は今回の指定ではないので使用しないようお願いします。）

「オリジナル版」の運指は弾く弦やポジションをわかる範囲で最小限示している運指の書込みが少ない楽譜です。そして、その運指をわかりやすく全ての音に詳しく書いたのが「野町運指版」となります。

（※ですが、細かく見ると、「野町運指版」の右頁5段目2小節2,3拍の和音が「オリジナル版」では2&3弦で取っている、7段目2小節3拍のミは開放弦になっている…と、この2点が異なります）

ギタリストの作った曲は、どのポジションどの弦で弾くかあるいはスラーをするのかポルタメントをするのか…などなど、曲が出来た段階ですでに運指はほとんど決まっているようなものです。そのような意味で「ターレガの運指」という表現を使いました。

今回指定の版、どちらに書いてある運指も根本的に「ターレガの運指」と言えると思います。その運指に忠実に弾いた方が音楽的だというのが解説の主旨です。

でも、そうでなくては絶対ダメと言うわけではありませんので、自分にとって弾きにくい困難な箇所があるなら、運指を工夫し適宜変更してもいいと思います（運指を変えたからと言う理由では減点になりません）。

少しでも疑問がありましたらまたご質問下さい。

（文責：佐藤弘和）